

みつはし

三橋さぶろう

議会活動報告



ピロリ菌検査

「ピロリ菌」または「ヘリコバクターピロリ菌」という言葉を一度くらい聞いたことありませんか？ ピロリ菌は1982年に発見され、大人が感染すると急性胃炎を起こしてすぐに排除してしまえますが、免疫力が弱く胃酸の分泌も不十分な5歳以下の子どもの場合、排除することができず持続感染してしまいがち。

ピロリ菌は胃の粘膜に生息し続け、慢性胃炎、胃十二指腸潰瘍、胃ポリープ、胃MALTリンパ腫、免疫性（特発性）血小板減少性紫斑病、機能性ディスペプシア症状などの病気の原因となり、さらに胃がんリスクを高めます。ピロリ菌と胃がんは密接に関係しているといわれ、世界保健機構（WHO）は1994年にピロリ菌を「確実な発がん因子」と認定。胃がんの99%はピロリ菌感染が影響しているとする研究結果も出ています。このため胃がんを予防するためにも、健康診断やがん検診等でピロリ菌が発見された人に、服薬による除菌治療が広がっています。（うら面へ）

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(40歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 当選
・健康福祉委員会 ・会派 民主連合
- 特 技: クロスカントリースキー
1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
2002年ソルトレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 家族:妻、息子(5歳)、娘(4か月)

(表面から)

日本国内で胃がんにかかる人は年間約 13 万人います。また胃がんが原因で年間、約 5 万人が死亡しているのが現状です。船橋市では厚生労働省人口動態保健所・市町村別統計 2012～2014 によると、がんで死亡した方のうち、胃がんで亡くなった方の割合は男性約 17%、女性は約 11%、全体では約 15%でした。3 年間で 924 人が胃がんで亡くなっています。

近年ではピロリ菌の発見・治療は早ければ早いほど、胃がんなどの病気を予防する効果が高いことが判ってきており、日本癌学会では 10 代でピロリ菌の検査を受けることを提案しています。

ピロリ菌をなくすこと胃がんを減らすことができます。さらに胃がん治療にかかる医療費も抑制することができますので、船橋市でも成人のピロリ菌感染検査および除去治療と、中学生へのピロリ菌感染検査を実施することを求めています。(国内では佐賀県などの自治体ですでに実施中)

【ピロリ菌の感染】

ピロリ菌の感染経路は完全に解明されていませんが、不衛生な環境が主な原因と考えられています。上下水道が十分整備されていない時代に、ピロリ菌に汚染されている井戸水を使用したことで感染した可能性が高いようです。このため 50 歳以上の多くの方が感染しているとされ、国内では中高年を中心に約 3500 万から 6000 万人がピロリ菌に感染しているといわれています。衛生環境が改善した現在では家族からの経口感染です。

三橋さぶろう市議会報告会

日 時：平成 30 年 11 月 17 日 (土) 10:00～12:00

場 所：三橋さぶろう事務所 (駐車場はありません)

1 時間ほど議会活動報告。その後、質問や要望をお聞きし意見交換させていただきます。

お気軽にお立ち寄りください。途中からの参加も可能です。

ご意見やご要望をお寄せください。

〒274-0063 船橋市習志野台 4-10-12 (新京成線習志野駅から徒歩 4 分)

電 話：047-402-2810

FAX：050-3488-3190

E-mail: funabashi@mituhashisaburo.jp

三橋さぶろう まで

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。